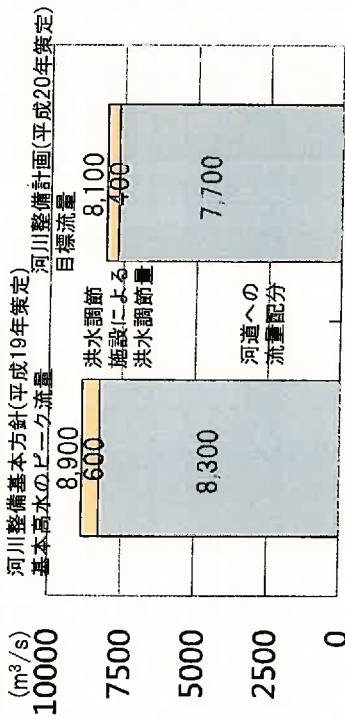




# 長良川の河川整備について

## 河川整備の目標（忠節地点）



## 近年の主な洪水

- 昭和51年(1976)9月洪水により、長良川右岸堤防が決壊し、約59,500戸が浸水するなど、安八町、大垣市(旧墨俣町)をはじめとすると広い地域において甚大な被害が発生しました。
- 平成16年(2004)の台風23号により、基準地点忠節で戦後最大規模となる洪水が発生し、長良川上流域において床上浸水386戸、床下浸水277戸など、大きな被害が発生しました。

## H16台風23号 長良川における出水状況

### ●被害状況



土砂の痕跡（長良橋左岸上流53.6km付近）



車被害（長良橋左岸上流53.2km付近）

### ●水防団活動状況



長良川の水位上昇に伴い、水防15団体約530名で陸閉鎖や水防活動を実施しました。

長良陸閉鎖状況（長良橋右岸52.8km付近）

## 長期計画の目標 当面の計画

- 過去の水害の発生状況やこれまでの整備状況、計画対象期間内に達成すべき整備水準、河川整備基本方針で定めた最終目標に向けた段階的な整備などを含めて総合的に勘案し、戦後最大洪水と同規模の洪水が発生しても、安全に流下させることを目標とします。

## 長良川の洪水防御計画

- 長良川の沿川には、人口、資産が集積しており、堤防嵩上げや引堤することは現実的ではないため、洪水を安全に流下させるための掘削により必要な河川の断面積を確保することとしています。

### 長良川の断面積を増大させる方法

**堤防嵩上げ**

●堤防嵩上げ  
既存の堤防を、より高くすることにより、河川の断面積を増大させる方法。  
高い水位で洪水を流すこととなるため、万一浸水したときの被害軽減が必要。

**引堤**

●引堤  
堤防を縮短して川幅を広げることにより、河川の断面積を増大させる方法。  
川幅の真直な土砂や多くの家屋移転が必要。

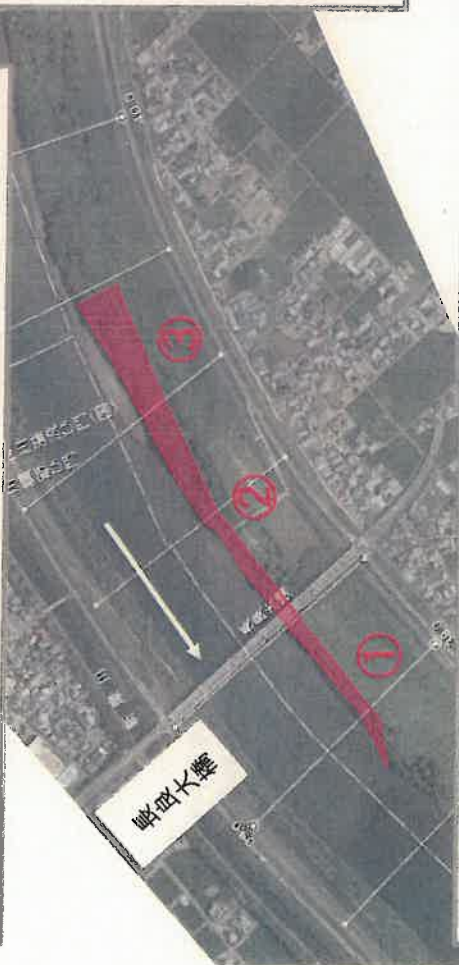
**河道掘削**

●河道掘削  
河床を掘り下げて河川の断面積を増大させる方法。  
洪水による掘削リスクを高めることが多く、新たな用地買収等を伴わないことから、長良川では最も優れた方法。

治水の原則は、洪水時の河川の水位を下げて洪水を安全に流すこと。

# 長良川茶屋新田南河道掘削工事

**工期** 平成25年3月1日～平成26年3月28日  
**工事概要** 長良川中流部の河道掘削  
 施工場所 岐阜県岐阜市日置江地先  
 工事延長 約760m, 河道掘削 約35,000m<sup>3</sup>



③

掘削箇所

島状に樹木を残す

着手前 H25.7.12

現在 H26.7.2

②

掘削箇所

水際に捨石を配置

着手前 H25.7.12

現在 H26.7.2

①

掘削箇所

水際の樹木を残す

着手前 H25.7.12

現在 H26.7.2

# 長良川上坂手河道整備工事

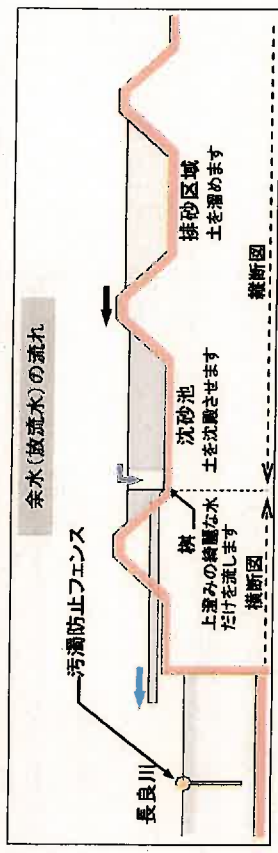
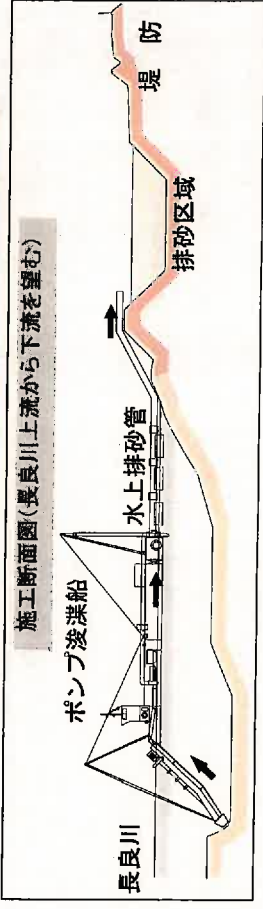
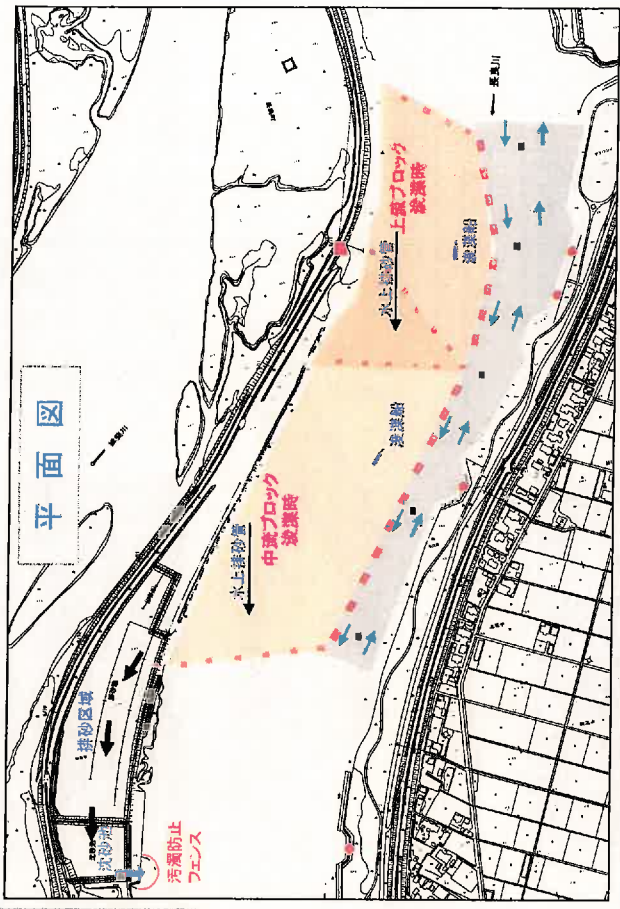
**工期** 平成26年2月1日～平成26年12月26日  
**工事概要** 長良川下流部の河道掘削（浚渫）  
 施工場所 三重県桑名市長島町上坂手地先  
 工事延長 約670m, 河道掘削 約110,000m<sup>3</sup>



**施工位置**



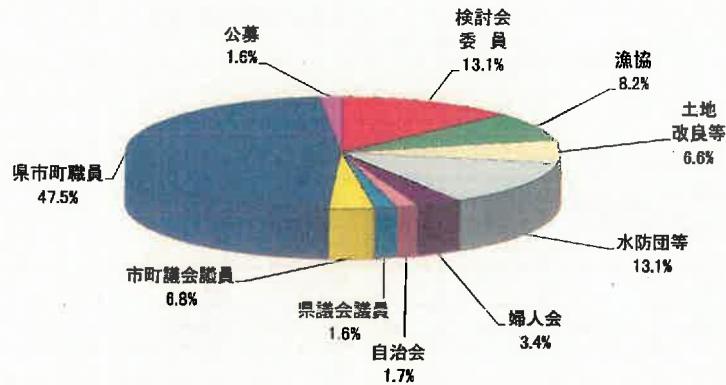
**ポンプ浚渫船**  
河床の土をポンプで吸い上げる機械



### 平成26年度 長良川河口堰県民調査団 参加者構成

所属・団体等	検討会 委員	漁協	土地 改良等	水防団 等	労働組合等	自治会	県議会議員	市町村議 会議員	市町職員	公募	合計
員数(人)	8	5	4	8	2	1	1	2	29	1	61
構成比	13.1%	8.2%	6.6%	13.1%	3.3%	1.6%	1.6%	3.3%	47.5%	1.6%	100.0%

※構成比は四捨五入の関係で100.0%にならない場合がある。

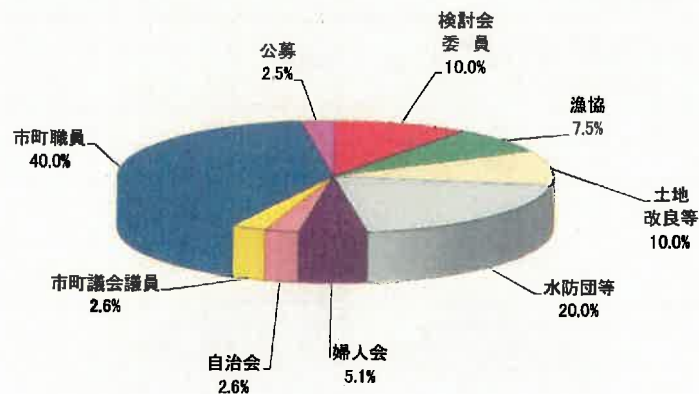


### 平成26年度 長良川河口堰県民調査団 調査票回収結果

所属・団体等	検討会 委員	漁協	土地 改良等	水防団 等	労働組合等	自治会	県議会議員	市町村議 会議員	市町職員	公募	合計
回収数(人)	4	3	4	8	2	1	0	1	16	1	40
構成比	10.0%	7.5%	10.0%	20.0%	5.0%	2.5%	0.0%	2.5%	40.0%	2.5%	100.0%
回収率	50.0%	60.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	50.0%	88.9%	100.0%	80.0%

※参加者の内、県職員参加者(11人)については、調査票の集計からのぞいています。

※構成比は四捨五入の関係で、100.0%にならない場合がある。



## 平成26年度 長良川河口堰県民調査団 アンケート結果(その1)

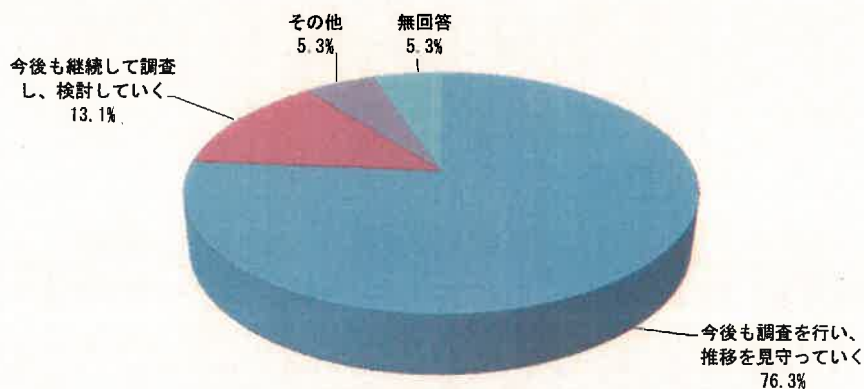
平成25年度長良川河口堰調査検討会において、「継続して調査検討を行うべき」とされた事項について、平成26年度長良川河口堰県民調査団が現地確認を行った際の意見

【選択回答の内容】	
・今後も調査を行い、推移を見守っていく	: 現状では大きな問題はないと捉え、このまま継続して調査して見守っていけばよいのではないかと、現状を肯定的に考えている場合
・今後も継続して調査し検討していく	: 今後も調査していくことは勿論のこと、もう少し改善していくように努力すべきではないかという、現状と比べてもう少し改善の余地がある場合
・対策を検討して改善していく	: 今のままではなく、抜本的な改善が必要である場合
※選択回答の内容については、アンケートに記載の上で、参加者が判断	

### (1) 底質の状況について

確認事項：今後も調査を行い、推移を見守っていく

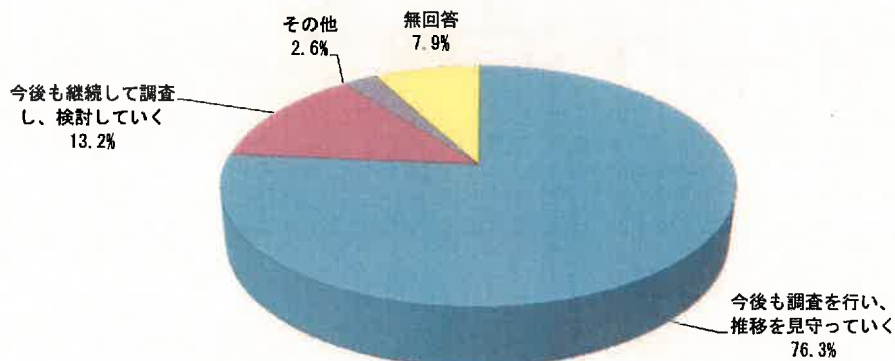
	今後も調査 を行い、推 移を見守っ ていく	今後も継続 して調査し、 検討していく	対策を検討 して改善し ていく	その他	無回答	
合計	29	5	0	2	2	38
構成比	76.3%	13.1%	0.0%	5.3%	5.3%	100.0%



### (2) 水質の状況について

確認事項：今後も調査を行い、推移を見守っていく

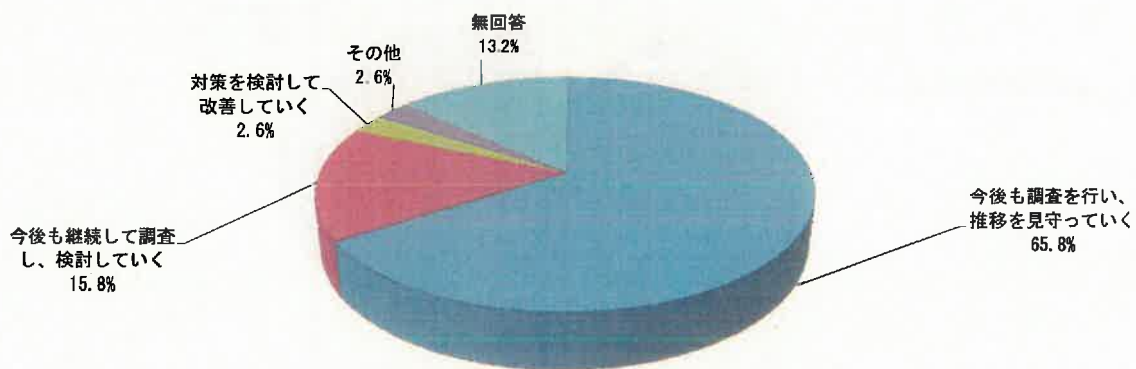
	今後も調査 を行い、推 移を見守っ ていく	今後も継続 して調査し、 検討していく	対策を検討 して改善し ていく	その他	無回答	
合計	29	5	0	1	3	38
構成比	76.3%	13.2%	0.0%	2.6%	7.9%	100.0%



(3) 魚類の遡上について

確認事項： 今後も調査を行い、推移を見守っていく必要がある。

	今後も調査 を行い、推 移を見守っ ていく	今後も継続 して調査し、 検討していく	対策を検討 して改善し ていく	その他	無回答	
合計	25	6	1	1	5	38
構成比	65.8%	15.8%	2.6%	2.6%	13.2%	100.0%

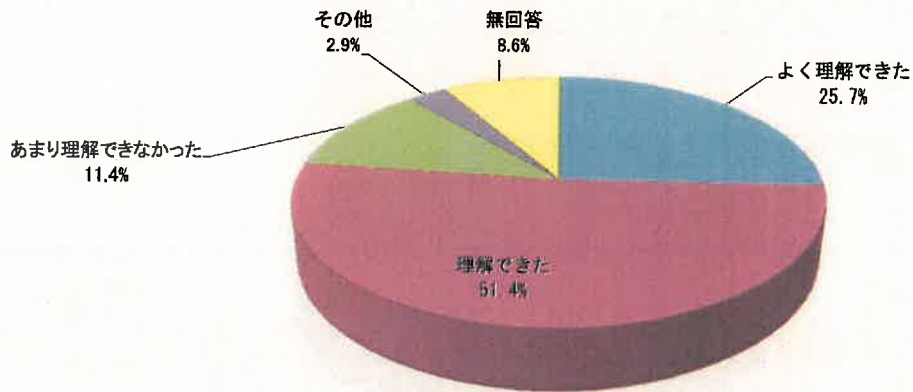


## 平成26年度 長良川河口堰県民調査団 アンケート結果(その2)

各現地確認箇所における担当者の説明に対する、平成26年度長良川河口堰県民調査団の意見

### (1) 長良川河道掘削箇所(40kp付近)

	よく理解できた	理解できた	あまり理解できなかった	その他	無回答	
合計	9	18	4	1	3	35
構成比	25.7%	51.4%	11.4%	2.9%	8.6%	100.0%



### (2) 安八破堤箇所

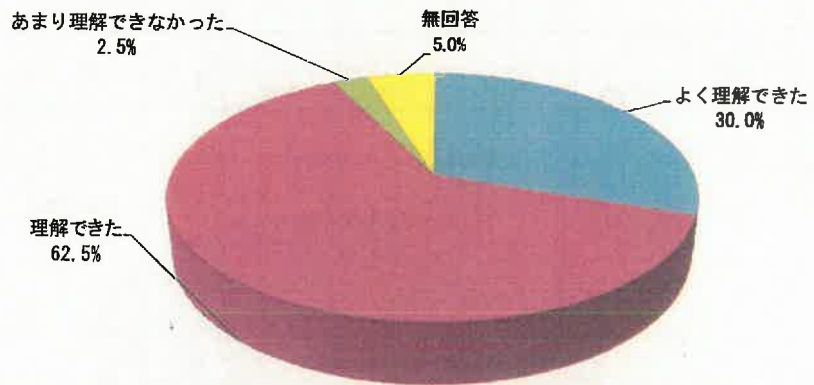
	よく理解できた	理解できた	あまり理解できなかった	その他	無回答	
合計	22	14	0	0	3	39
構成比	56.4%	35.9%	0.0%	0.0%	7.7%	100.0%





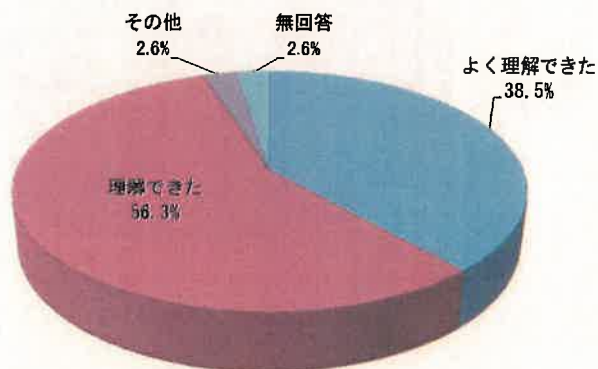
(3)長良川河道掘削箇所(11kp付近)

	よく理解できた	理解できた	あまり理解できなかった	その他	無回答	
合計	12	25	1	0	2	40
構成比	30.0%	62.5%	2.5%	0.0%	5.0%	100.0%



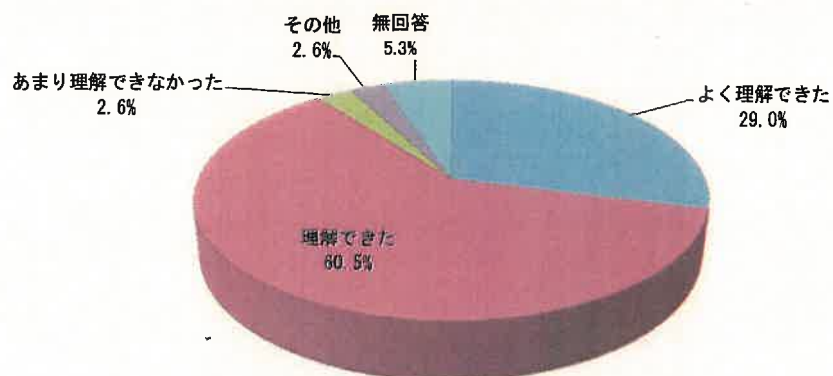
(4)-①長良川河口堰の機能について

	よく理解できた	理解できた	あまり理解できなかった	その他	無回答	
合計	15	22	0	1	1	39
構成比	38.5%	56.3%	0.0%	2.6%	2.6%	100.0%



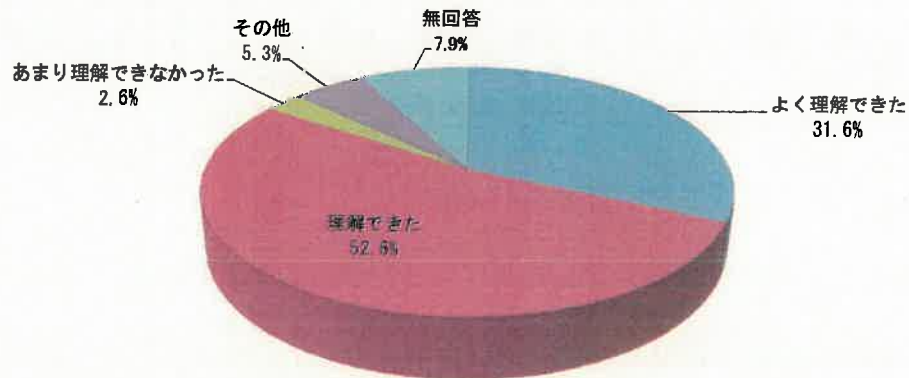
(4)-②河口堰を含む治水対策の効果について

	よく理解できた	理解できた	あまり理解できなかった	その他	無回答	
合計	11	23	1	1	2	38
構成比	29.0%	60.5%	2.6%	2.6%	5.3%	100.0%



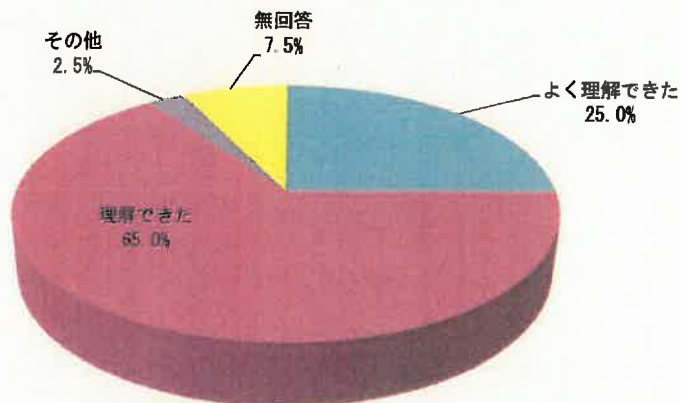
(4)-③河口堰の必要性について

	よく理解できた	理解できた	あまり理解できなかった	その他	無回答	
合計	12	20	1	2	3	38
構成比	31.6%	52.8%	2.8%	5.3%	7.9%	100.0%



(4)-④河口堰周辺の環境(水質、底質)について

	よく理解できた	理解できた	あまり理解できなかった	その他	無回答	
合計	10	26	0	1	3	40
構成比	25.0%	65.0%	0.0%	2.5%	7.5%	100.0%



## 平成26年度 長良川河口堰県民調査団の運営に対する意見

### ● 運営に対する意見

- ・毎回同じでありすぎる。少し変化をつけられないか。
- ・特定の人の質問、それもしつこいので、他の参加者が質問しづらい。
- ・質問されている方が2名ほどいたが、その方たちは10年以上参加されているとのことだった。質問者の質問内容は他の参加者に理解されていない。
- ・参加者の中に、質問というより批判ととることができる言動をされる人がいましたが、とても不愉快でした。前年度も参加したらしいですが、河川整備計画がどうのこうの、値がどうのこうの、人前でアピールプレイがしたいのかもしれないが、別の日に直接担当機関でお願いしたいものです。
- ・同じ人が何回も参加しない方が良いと思う。
- ・より多くの人に河口堰を見学してもらうことが必要だと思った。
- ・長良川の利水施設も視察したい。